

ARK no.61

秋田県立近代美術館ニュース・アーク

Akita Museum of Modern Art



笑にかけると熱い、熱いトークが展開しました。
10月30日・秋田公立美術工芸短大学長植田豊次郎さんと河野館長の対談。



白い紙に絵の具をはしらせて、もうアーティスト気分！
9月8日・セカンドスクール・太田北小学校



木の幼球にはいると、なんだがみんな、笑顔になります。
10月5日・出前美術館・八幡町立堀川小学校



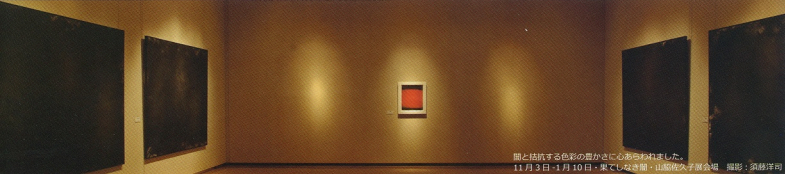
森氷をまとったメープルリーフをプレゼント。
12月24日まで楽壇裏にプレゼント・メープルリーフのオーナメント



形残たちも魅了したピアノでした。
10月11日・ミュージアムコンサート・前田実樹さん



糸路の刃にみんな喜利なまなざし。
12月5日・X'masオーナメントをつくらう！



モノ
づくりの
未来!!

2010 AMCAC FACULTY WORKS EXHIBITION

こころ揺さぶるモノづくり
秋田公立美術工芸短期大学の美術・工芸・デザイン
10.16 Sat. 11.14 Sun

秋田公立美術工芸短期大学（以下「美短」）は、平成7年4月に北東北の新たな美術・工芸・デザインの人材育成拠点として開学しました。このたびの展覧会は、美短がこれまで実践してきた教育の理念と公立大学の使命である地域とのかかわりについて、モノづくりをとおして紹介しようとするものであり、「工芸」「コンテンツ」「アート」「デザイン」「絵画・彫刻」の4部門

で25人の先生たちの力作104点を紹介しました。当館にとって初めてとなる学校との共催事業であり、美短にとっても先生たちの作品を学外でまとめて展示するは初めての試みでした。展覧会直前まで徹夜で作品を仕上げた先生や、展示室で最後の仕上げ（修正?）をした先生の姿も、展示作業は先生や学生と当館職員で行い、まさに手作り感たっぷりの展覧会になりました。展示作品のボリュームもさることながら、教育普及の面でも、樋田学長と当館の河野館長との対談を始め、美短の先生たちによる講演会やパネルディスカッション、討論会にシンポジウム、作家による3回のギャラリートークにワークショップと盛りだくさん。このほか会期中に美短の先生たちが交代で来館し、美短のモノづくり、ヒトづくりにかける情熱がほとばしる3日間でした。美短の大学案内を持ち帰る高校生の姿も多く見受けられ、来年度入学に際し、当館が位置する県南部からの入学者が増えることを願わずにはいられません。

（担当・三浦）

□パネルディスカッション：10月17日

□講演会・対談：10月30日

□討論会：11月14日

□ギャラリートーク：10月24日、30日、11月7日

□ワークショップ：11月7日



左・11月7日・美短ワークショップ「モノデザイン」、杉板を通したがりかみ織ります。
下・10月16日・ギャラリートーク・樋田学長の解説を真剣に聞き入る参加者です。



高橋萬年展

— 絵の仕事 —

2010.11.20 土 - 2011.1.30 日

萬年の、心に触れる

今回の展覧会のために、高橋萬年の未公開の写生帖をひもといてみました。萬年は、秋田市出身の日本画家。寺崎廣業のもとで絵を学び、院展に出品を続けていた作家です。

当館に所蔵されていた写生帖は8冊。手作りのやや大きめのサイズの写生帖には、薔薇や桜、リンゴ、ハタハタ、亀…など身近な動植物がたくさん描かれています。全部で400枚ほどありましたが、中でも薔薇の写生が印象に残りました。ピンと張りつめたような線で描かれた薔薇はとても美しいのですが、その量にもびっくり…赤い薔薇や白い薔薇を上から見たり斜めから見たり、朝と夕方時間をずらしたりしながら、ため息が出るくらい繰り返したくさん描いているのです。ざっと数えても65枚。花びらが少しずつ開いていく様子がわかる写生は、まるで動画になる前のアニメの1コマ1コマを見ているようでした。日付を追っていくと、母が亡くなった直後から描いていたことがわかりました。萬年の心の中のをのそくことはできないのですが、様々な思いを胸に写生帖と向き合っていたのでしょう。不思議なほどにものに迫った写生が、今も心に残っています。

萬年は、この2年後に母の後を追いかけるように亡くなっています。体調を崩してから「夢で絵の仕事をしています」と弟子に書き送っている萬年。写生帖をひもとくことでそんな萬年のひたむきな心に触れることができたような気がしました。

（担当・榎尾）

□ギャラリートーク：11月21日

2011年2月5日(土) - 4月17日(日)



2月6日・かんじきウォーク。雪に埋もれた、彫刻のアタマにタッチ!!

雪と遊ぼう! かまくらも登場!!

「雪と遊ぶ〜冬を楽しむ美術館」は当館のコレクションから雪にちなんだ作品を紹介するとともに、展示室と屋外の彫刻広場を使って「雪と遊ぼう」という企画展です。閉じこもりがちな季節ですが雪を描く作品を通して風景や人々の美しさを見直し、冬の美術館を楽しんでもらいたいと考えました。当初は雪というテーマに「雪不足だったらどうしよう」と心配したのも束の間、今年は記録的大雪となって不安は解消しました。展示室では雪景色の作品とともに展示室の床に発泡スチロールの粒を撒いて雪原に見立てたり、スポットライトを鏡で反射して、暗い天井や壁に雪の結晶を舞わせたりと、「遊び」の要素を取り入れたのをお客様に楽しんでいただけただろうか…。かまくらの期間と重なることもあり、横手市観光協会とかまくらの方々からの協力を得て、広場に実物のかまくらを制作することもできました。ポスターにも描いたキリンとかまくらの共演が実現です。その効果からか、いつもの冬は全く人が入らない(入れない)広場に多くの方が訪れ、記念写真を撮っていくのが美術館の窓からよく見かけられました。またこれを機会に行ったギャラリーツアーでは雪の上をかんじきで歩き、雪の上に顔を出した彫刻をさわったり、野生のウサギの足跡を見つけたりました。関連ワークショップは動物がテーマのミニ雪像づくりです。固めておいた雪のかたまりを削ったり付けたりしながら、高さ1メートルほどの雪像をつくるのは大変でしたが、天候にも恵まれてこの季節の美術館を野外でも楽しむ活動ができました。

(担当・小笠原)

□ギャラリーツアー(かんじきウォーク)2月6日
□親子ワークショップ2月13日

粘土に夢中!

《テラコッタで人体をつくる》

本格的な素材や技法を多くの人に触れてもらおうと、毎年開催される一般美術教室の彫刻教室に、今年度は彫刻家である秋田公立美術工芸短期大学准教授の皆川嘉博先生を迎えました。「テラコッタ」は粘土を素焼きした作品のことで、ちょうど同時期に開催の企画展「こころ揺さぶるモノづくり」に先生のテラコッタ作品が展示されていることもあり、作品と制作過程が両方見られるよい機会となりました。実際にモデルを見ながら小さな全身像を作るといって、ちょっと難しい内容を。部屋の真ん中にモデル台を置き、タイマーで時間を計りながらポーズをとってもらおうのも本格的で良い緊張感がありました。最初に先生が手本を示すと、粘土がするすると変化していく手元を全員が凝視します。心棒もない粘土の塊でも骨格ができて人体になっていくことがよく分かりました。ポーズのたびに見る角度が変わり、集中力を切らさずに続けるのは大変でした。参加のみなさんには人体の形とバランスをとらえることの難しさや面白さを感じてもらえたのではないかと思います。2週間ほど乾燥させた粘土は窯で焼成し、2回目の教室で少し着色すると素朴な味わいがある作品になりました。

(担当・小笠原)

□一般美術教室・10月16日(土)、11月14日(日)

10月16日・美術指導に熱がはいる、皆川先生。



t topics

平成22年度第3期コレクション展 果てしなき闇 山脇佐久子

2011/3 11/3 - 2011/1/10

調査の折り、山脇佐久子のアトリエから学生時代の作品が発見されました。「茄子と林檎」とは何と高校時代の作品です、裏側に記載した「3年5組」が美術の課題だったことを物語っています。展覧会に出さなくても、学生の描いたものでも美しい作品は心奪うます。そんな作品に出会える喜びをこの展覧会は教えてくれました。また、このコレクション展は全画紙や週刊誌にもとりあげられました。まもなく YOU TUBE にアップするうわさも・・・。山脇佐久子の闇は展覧会が終わっても広がっていくようです。



セカンド

平成22年度セカンドスクール利用校一覧

小学校45校、中学校14校、高校5校、幼稚園・保育所4園 (72団体・3,973人・2月22日現在)	横手市立南小学校	生保内中学校	横手西高校
河川小学校	小野小学校	横手西中学校	角館南高校
仁井田小学校	皆瀬小学校	金沢中学校	山形県立酒田西高校
石巻市内小学校	三輪小学校	横手南中学校	こしよの保育園
五城目小学校	羽後初成小学校	高瀬中学校	上宮第一幼稚園
湯分小学校	元西小学校	増田中学校	第二幼稚園
岩谷小学校	東成瀬小学校	平鹿中学校	十文字保育所
大曲小学校	鷹巣南中学校	羽後中学校	
大川西根小学校	土崎中学校	山田中学校	
桂宮寺小学校	岩鼻三内中学校	山田中学校	
土川小学校	雄和中学校	東成瀬中学校	
赤松小学校	五瀬第一中学校	沢内中学校	
赤木小学校	仁賀保中学校	能代北高校	
太田南小学校	雄物川北小学校	能代商業高校	
	院内小学校		

今年度もご利用ありがとうございます。来年度もたのしい企画を満載し、皆様のご利用をお待ちしています。

10 2010年度・下半期の美術館レポート

企画展

- **こころ揺さぶるモノづくり展** 10.16~11.14
秋田公立美術工芸短期大学の美術、工芸、デザイン
- **高橋萬年展** 11.20~2011.1.30
- **雪と遊ぶ〜冬を楽しむ美術展** 2.5~4.17

コレクション展

- **第3期 山脇佐久子展** 11.3~2011.1.10
- **第4期 伊藤彌四夫展** 1.21~4.10

親子で●X'mas オナメントをつくろう!

- 講師：山本文志（当館学芸員） 12.5
- 講師：小笠原京（当館学芸員） 2.13

一般●彫刻教室

- 講師：岩川香博さん（秋田公立美術工芸短期大学准教授） 10.16,11.14

ワークショップ●杉モノデザイン

- 講師：菅原香織さん（秋田公立美術工芸短期大学助教） 11.7

ミュージアムコンサート

- ミュージアムコンサート（美術部フロンティア企画イベント） 9.23
- ミュージアムコンサート（後援：日本記念日会、伊藤潤子さん） 10.11
- ミュージアムコンサート（出演：新田真樹さん） 11.6
- ミュージアムコンサート（出演：小野安広さん、小野真弓さん、西川香さん）

第2期ネットワーク事業 清新な美の軌跡 横山津恵展

会場：秋田県立図書館2階特別展示室
 会期：2010年12月15日(水)~2011年2月6日(日)
 当館所蔵の横山津恵作品から、春の院展出品作を中心に初期から晩年に至る作品14点のほか、絵の具や筆類等遺品を展示しました。

キャリアトーク・講演会など

- **こころ揺さぶる展** 10.17
- **パネルディスカッション** 10.30
- **講演会・対談** 10.30
- 講師：横山津恵さん（秋田公立美術工芸短期大学学長）
河野元昭（秋田県立近代美術館長）
- **討論会** 11.14
- **キャリアトーク** 10.24,30,11.7
- **高橋萬年展** 11.21
- **ギャラリートーク** 11.21
- **雪と遊ぶ展** 2.6
- **かんじきウォーク** 2.6

美術館からのX'masプレゼント

● 今年もメーブルリーのオナメントを12月下旬にプレゼント。もちろん美術館のオリジナルでした。中に「YAMAWAKI-BLACK」のレアものが・・・。

i information

■ これからの展覧会 ■

特別展(予定)

- **アートで虫むし展** 4.23-7.13
とびりコロバウ大行戦
- **光と影のファンタジー 藤城清治の世界展** 7.22-9.25
- **ハイイロの素朴な絵画展** 10.1-11.27

コレクション展 Art Report Akita

- **第1期 日本画セレクション** 4.13-7.10
- **第2期 THE 柴田安子** 7.13-10.10

美術館 HP はもちろん、「秋田県立近代美術館」を検索!

● つくる、しる、たのしむ ●

- **つくる**
- **みんなでつくる**
小学生学年以上の児童から一般まで参加できます。
小学生学年以下の児童が参加する場合は保護者同伴です。
- **石でムシをつくろう** 7.3
木のクラフト教室 7.30,31
- **専門的につくる**
中学生以上一般を対象しています
デジタルカメラで撮る昆虫と自然 6.26
木のクラフト教室 8.7,21,28(全3回)
- **しる、たのしむ**
- **ミュージアムコンサート** 6.19他
- **ギャラリートーク** 4.23,5.1他(予定)

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)
 休館日 12/29-31, 2012/1/10-19
 交通 ●秋田自動車道 横手インター 3分
 交流 ●バス(横手駅→3分、(市役所前)→5分と15分)

- 2011年3月31日発行
- 発行編集 秋田県立近代美術館
013-0064 秋田県横手市赤坂字鶴ヶ沢 62-46
TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858
E-mail akitamma@nac.np.jp
- デザイン、T.Yamamoto ●印刷 塚田印刷
- 表紙背景写真「かまくら」撮影 菊池信夫

みたつたのしんた